

「海星中学校の港ヤンハ伝承活動の取組」

1. 学校名	薩摩川内市立海星中学校
2. 学年・人数	手打地区生徒 4人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 2024年10月～11月 下甕離島住民生活センター (2) 発表の日時・場所 2024年11月2日 本校文化祭 海星中学校体育館
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名称 港ヤンハ（みなとやんは） 手打地区生徒 (2) 由来 由来は諸説あり、始まりや歴史は不明であるが、古くから下甕村手打の港地域の郷土芸能として踊り唄い継がれてきた。平成9年に開催された第1回竜宮フェスタへの出演を機に、港地域の青年が中心となって保存会を結成し、郷土芸能の保存伝承に取り組むようになった。 (3) 構成等 唄、太鼓、拍子木、踊り（踊りは通常4人だが増やすのは可能）
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	伝統芸能の伝承については、各地域の保存会が中心となり、取り組んでいる。そのため、学校は教育活動に位置付けることはないが、各地域担当職員が保存会と連携し、伝承活動を積極的に支援している。また、生徒減少に伴い、保存会の方々や本校職員が参加し、文化祭や各地域の行事において披露している。 生徒は、文化祭等で披露することに憧れがあり、住んでいる地域の伝統芸能に高い関心をもっている。
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	 文化祭での披露
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	【生徒】 文化祭や地域の行事で披露することができてよかった。これからも伝統を受け継いで欲しいです。保存会の方々練習、指導等ありがとうございました。 【教職員】 本校の文化祭の特色である、各地域の伝統芸能披露が、職員も参加し地域ぐるみで披露することができ、生徒とともによい経験となった。今後も地域とともに伝統芸能を伝承し、甕島を盛り上げたい。 【保存会】 今年度は多くの郷土芸能が披露できよかった。今後は、生徒数減少に伴い、郷土芸能をどのようにして伝承していくかが課題です。子どもたちが、島立ちしても郷土を思う気持ちを忘れず、頑張ってもらいたい。